

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 721 1161 1088"><tr><td data-bbox="630 721 890 907">1</td><td data-bbox="890 721 1161 907">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 907 890 1088">3</td><td data-bbox="890 907 1161 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0349  
0350  
0351

3  
依  
存  
簿

3

# 部隊原簿

部隊原簿

第一二三師團

4A

3

# 部隊原簿

第一三師團

4A

部隊原簿

第一二三師團

4A

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="636 714 1171 1086"><tr><td data-bbox="639 719 895 898">1</td><td data-bbox="895 719 1168 898">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 898 895 1081">3</td><td data-bbox="895 898 1168 1081">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					









部 醫 軍	部 理 經	部 器 兵	部 官 副	部 謀 參	官 令 司	別 隊
大佐 柳田	中佐 津田	中佐 船崎	少佐 加藤 少尉 田島 弘一 准尉 尾野 慶高	參謀長 大佐 土田	中將 北澤貞夫郎	隊長 名 (内は先代を示す)
					隸下 1,000	開人 時 戦 時 平 時 戦
					吳 孫 吳孫力主	駐 屯 地 時 戦
					屯武勝部一	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
						終 戦 後 の 人 員 變 動
						作 業 大 隊 以 上 の 入 員 入 員 の 變 動 <small>各隊中隊と「ヘパロ」 孫吳地區の大隊以上者は 一行を返される様である。</small>
						隊 別 計 入 員
						滿 洲 殘 留
						收 容 所 名
						所 入 死 亡
						滿 洲 領 計
						歸 還 人 員
						状 況 不 明 者 數

隊 名 第 一 二 三 師 團 司 令 部

通 稱 號

滿 洲 一 五 二 〇 一

郵 便 所 名





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 730 1166 1099"><tr><td data-bbox="635 730 895 913">1</td><td data-bbox="895 730 1166 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 913 895 1099">3</td><td data-bbox="895 913 1166 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0358  
0359  
0360

第四軍第一二三師團

部隊名 第一二三師團歩兵第二六八聯隊(一)通稱號

滿九八〇一  
松風一五二〇二

郵便所名

全般概要

第五國境守備隊に歩兵第一聯隊の補充者を加えたるものを基幹として、二〇一年一月十六日に新編成した部隊である。終戦時本部第三大隊は孫吳の第一大隊は勝武屯に第二大隊は江津警備として瀋河に分離していた。(以上統括して孫吳西陣地との云々) 戦中は主として第二大隊正面に展開され大隊の損害は戦死者約三〇〇名であつた。第二大隊の第五中隊は主力とはなされて歩兵二六九聯隊の平間大隊の指揮下に入り、激戦す之。甚大なる損害をうけたと云われ。第一及第三大隊は地上戦斗はなく、防空戦に於て死者が若干あつた模様である。

轉入

昭和二〇、三  
一〇、六〇〇  
名 其他

轉出

昭和二〇、三  
一〇、六〇〇  
名 其他

員入調編

昭和二〇、三  
一〇、六〇〇  
名 其他

隊長名

(一)内は先代を不示す  
大佐 山中 高助  
少尉 杉澤九二男

戦開人

大佐 山中 高助  
少尉 杉澤九二男

駐屯地

山神荒

戦闘間の状況及損耗

鮮業者なし  
小隊迄名のみで殆んど解散状態に兵力無  
一力なし

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソ之の變動

入ソ人員

入ソ人員

滿洲残留

滿洲残留

收

收

小馬乘	隊中通信	李行部本	部本隊聯
-----	------	------	------

少尉 野田	中尉 須田 高義	少尉 上田 正愛	大佐 山中 高助 少尉 杉澤九二男
-------	----------	----------	----------------------

約30	131	約200	約200
-----	-----	------	------

右同	右同	右同	山神荒
----	----	----	-----

右同	右同	右同	山神荒
----	----	----	-----

小隊迄名のみで殆んど解散状態に兵力無 一力なし	鮮業者なし		
----------------------------	-------	--	--

作業大隊より 入ソ之の變動			
------------------	--	--	--

入ソ人員			
------	--	--	--

滿洲残留			
------	--	--	--

收			
---	--	--	--

部隊名 第二二三師團歩兵第二六八聯隊(一)通稱號

滿洲 九八〇一  
松風 二五二〇一

郵便所名

人員編制				別隊		隊長名		開人		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソノ迄の變動		入ソノ人員		滿洲殘留		收容所		歸還人員		状況不明者數							
小	馬	乘	除	中	信	通	李	行	部	本	部	本	隊	聯	別	隊	隊長名	開人	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	入ソノ人員	滿洲殘留	收容所名	收容所人	死亡	滿洲より	歸還人員	状況不明者數			
																	大佐 山中 高助 副官 杉澤九二男 少尉 野田	將一 下士三 兵一〇	荒神山	約200	約30												
																	中尉 須田 高義	將一 下士九 兵二〇	右同	鮮業者なし													
																	少尉 上田 正彦	將一 下士三 兵一〇	右同	鮮業者なし													
																	少尉 野田	將一 下士九 兵二〇	右同	小隊は名のみで殆んど解散致した故に兵力統一力なし													







隊中砲隊聯	隊小馬乘	隊中信通	李行部本	部本隊聯
DIA TA 小見士 井馬 黒田 (中尉 岩浪 定治 戦中副官代理)	少尉 野田	中尉 須田 高義	少尉 上田 正麿	大佐 山寺 高助 少尉 杉澤九二男 (下二一三 兵一〇)
約250	約30	131	約200	
				吳 彦
山澄清	右 同	右 同	右 同	山崎 茂
	小隊は名のみで殆んど解散状態に兵力無 一力なし	無業者なし		

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="632 728 1161 1099"><tr><td data-bbox="632 728 890 909">1</td><td data-bbox="890 728 1161 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="632 909 890 1099">3</td><td data-bbox="890 909 1161 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

02074

第四軍第一二三師團

部隊名

歩兵第二六八聯隊(二)

通稱號

滿九八二  
松風一五二〇二

郵便所名

全般概要

(前編付)  
建一大隊の移動月日場所左の如し  
九、四 窪 茨屋登  
九、五 窪 武池 (歩兵隊兵入る)  
九、六 窪 陸軍  
九、七 窪 スタンチノ  
九、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇名)  
建設第二大隊編成  
長 中尉 松本  
以下一〇〇六名(二六八聯隊) 編部不明  
ハイド収容所に入所建設第八大隊編成  
長 中尉 松本  
以下一〇〇五名  
(二六八聯隊(一〇〇名)  
(二七〇聯隊(四〇〇名)  
編部不明  
ニロイニフナツタニ建設?  
大隊編成 長 大佐 戸原  
以下一〇〇六名  
二六八聯隊二三混合  
六〇〇名  
ハイド収容所  
建設第二大隊編成  
長 中尉 松本  
以下一〇〇六名(二六八聯隊) 編部不明  
ハイド収容所に入所建設第八大隊編成  
長 中尉 松本  
以下一〇〇五名  
(二六八聯隊(一〇〇名)  
(二七〇聯隊(四〇〇名)  
編部不明  
ニロイニフナツタニ建設?  
大隊編成 長 大佐 戸原  
以下一〇〇六名  
二六八聯隊二三混合  
六〇〇名  
ハイド収容所

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人組織

部隊別	第一大隊本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第一關鏡中隊
隊長名 (内は先代を欠す)	大佐 戸原 三夫	中尉 加藤銀太郎	中尉 北村 善一	少尉 興津 武雄	中尉 赤井 信二
開入 人員 戦時 平時 戦時 戦時					
駐屯地	屯武勝				
	台北水台				
戰鬥間の狀況及損耗	野空戦に依り若干の損害あり 地上戦ヲ殆どなし				
終戦後の人員變動					敵機襲撃又敵機庫内攻又 戦車庫を襲撃 我は砲撃重傷をととのへ今や開始せんとす るに本部より積極的行動中止の命あり
作業大隊より 入「ソ」迄の變動					
隊別計					
滿洲殘留					

隊名 步兵第二六八聯隊(二) 運稱號 滿洲一五二〇二

郵便所名

第歩	隊中銃一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	別隊	編制人員
	中尉 赤井 信二	少尉 興津 武雄	中尉 北村 善一	中尉 加藤 銀太郎	大佐 戸原 三夫	隊長名 (内は先代を示す)	
						駐屯地	戦時人員
						屯武勝	平時人員
右同	右同	右同	右同	右同	右同	合水北	戦時人員
	近接攻撃又激戦軍肉攻又 戦車突我を痛撃 我は砲撃態勢をととのへ今や開始せんとす るに本部より積極的行動中止の命あり					戦闘間の状況及損耗 野砲隊に依り若干の損害あり 地上戦闘殆どなし	終戦後の人員變動
							作業大隊より 入ソノ迄の變動
							隊別 入ソノ人員
							満洲 残留
							收容所名
							所入
							死亡
							満洲 より領
							計
							者 数
							快運不明



大尉 三浦 三郎  
 中尉 北村 善一  
 少尉 興津 武雄  
 中尉 赤井 信二  
 大尉 和田 二郎  
 中尉 加藤 銀太郎  
 大尉 河 孫  
 中尉 山神 荒

部本隊大二第	隊大 一 第 隊小 砲 兵 歩	隊大 一 第 隊中 銃 關	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部本隊大一第
		中尉 赤井 信二	少尉 興津 武雄	中尉 北村 善一	中尉 加藤 銀太郎	大尉 三浦 三郎
	70					
河 孫						中尉 山神 荒
山神 荒	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	中尉 河 孫
正面に戦斗展開され大隊の損害は死者約三〇である、八月九日、空襲あり八月一日にはTK60交戦		敵機突撃又敵軍内攻又、戦車砲我を破壊我は砲撃態勢をととのへ今や開始せんとするに本部より後退的行動中止の命あり				中尉 山神 荒

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 730 1169 1099"><tr><td data-bbox="639 730 895 913">1</td><td data-bbox="903 730 1169 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 913 895 1099">3</td><td data-bbox="903 913 1169 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					





隊名 歩兵第一二六八聯隊(三)

通稱 松風一五二〇二

郵便所名

三第	隊大二三第 隊小砲兵歩	隊大二三第 隊中銃關	隊中七第	隊中六第	隊中五第	別隊	
						隊長名 (内は先代を示す)	隊員
		少佐 古谷野秀吉 (死)	少尉 井上 進	中尉 村田 真雄	少尉 水谷 (死) 薫 二ヶ小隊 隊長指揮 MC一小隊	202	關人
							駐屯地
澄清	右同	右同	山神荒	屯季四	山神荒		戦闘間の状況及損耗
對空戦に依り若干の損害あり、地上戦斗は どなし			有力なる機甲部隊の進軍阻害用挺身切込に より多大の損害を蒙る。八月二日日本隊 と合戦する戦死一行方不明なし	主力よりはなれて歩二六九聯隊の手間大隊 に投入され激戦、死傷約五〇行方不明一五 〇を呈す			終戦後の人員變動
							作業大隊より 入ソ返の變動
							隊別計
							入ソ人員
							滿洲殘留
							收容所名
							所入
							死亡
							滿洲より ソ領より
							歸還人員
							計
							者
							状況不明 数





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 725 1171 1099"><tr><td data-bbox="635 725 895 913">1</td><td data-bbox="895 725 1171 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 913 895 1099">3</td><td data-bbox="895 913 1171 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0372  
0371  
0370

第四軍第一二三師團 部隊名 步兵第二六八聯隊(四) 通稱 號滿 松風一五二〇八一 郵便所名

全般概要  
特別攻撃隊に充てられて編成され二六八I長の指揮下であり、荒神山に於て一〇〇名(突撃隊、機銃隊の兵)を集合攻撃す。荒神山に於て約三〇〇名(二七〇名)を生死不明、三〇名は荒神山の一〇〇名と共に調子不明地配置として

全般概要		轉入	轉出	員人編	隊別	隊長名	開人	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲残留
第十九年以降	第十九年以降				少尉 江川 明	( )内は先代を示す	時員	山澄濱					
第三師團 砲兵	第三師團 機銃隊				中尉 綾佐 一			右同					
					中尉 緒口 清榮			右同					
								右同					
								右同					









隊 育 教 別 特	隊 大 三 第 隊 小 砲 兵 步	隊 大 三 第 隊 中 銃 關 機	隊 中 一 十 第	隊 中 十 第
中尉 坂本 (四A) 章		中尉 緒口 清榮	中尉 綾住 一	少佐 江川 英
山神荒 山勇武	右 同	右 同	右 同	右 同
昭和二十八年八月九日種田中尉 の指揮する三小隊約百三 六名が武勇山陣地を襲撃 した。八月十七日以後は連絡 が断たれた。				

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 719 1174 1093"><tr><td data-bbox="639 719 900 904">1</td><td data-bbox="900 719 1174 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 904 900 1093">3</td><td data-bbox="900 904 1174 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

第四軍第一二三師團 部隊名 歩兵第二六九聯隊(一) 通稱號 滿洲 九八六 松風 一五二〇三 郵便所名 四八五

全殺概要

轉入	轉出	人員制編	別隊	隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動
十九年以降	十九年以降	員人制編	別隊	( )内は先代を示す 大佐 後藤 三平 中尉 島海 角三	時員平	北、 守 吳 孫	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動
歩兵第百九十九隊の改編 二〇、二 現物(海防隊 隊より)								
二〇、二 左海現役								
二〇、四、六 左海補充								
二〇、六、一 新米現役 (二〇〇名)								
二〇、八、一 左海現役 (五〇〇名)								
向戦平の進歩に伴い各陣地より孫炎注陣地に砲撃不可能の爲北安方面に退出したものも相當ある模様である終戦後一切の武器弾薬を陣地内に残し八月十七日孫炎に集結したがこの間一日日決したものであると思われ八月十八日、孫炎で武器弾薬除九月中旬入「ソ」ロ「ソ」等が收容された								

歩兵第二六九聯隊(一)は昭和二十年八月十三日敵の三四攻撃を  
記の通りである

八月十六日の早朝撤退した  
八月十三日に陣地を撤退し細羊牧場で戦斗  
を遂行した  
八月十日に秋田陣地を撤退した

隊								
---	--	--	--	--	--	--	--	--



部隊名 歩兵第二六九聯隊(一) 通稱號 瀟洲、九八六、松風、五二〇三

郵便所名 四八五

隊	藥	作	隊中砲射速	隊中通信	本行部本	部本隊聯	別	隊
		人事課 曹長 河西 修	中隊長 不明 指揮班 野並一永 一小隊長 高杉 次郎 48 二小隊長 廣川 基隆 46 三小隊長 岩野 竹一 46 准尉	中尉 小栗 寛而		大佐 後藤 三平 副官 鳥海 角三 中尉	( ) 内は先代を示す	隊長名
								戰 闘 人 員
								駐屯地
								戰鬥間の状況及損耗
				有線網の補給、兵器資材の集積				終戦後の人員變動
								作業大隊より入「ソ」迄の變動
								入「ソ」人員
								滿洲殘留
								收容所
								收容所名
								人員
								死亡
								滿洲より
								領
								計
								考
								数

第一回作業隊九月三日張家口  
「ハロフスク」附近  
第二回作業隊九月一三日張家口  
「コンスタン」(ライチン)





隊中砲隊聯	隊小馬乘	隊薬作	隊中砲射速	隊中信通	奉行部本	部本隊聯
		人塚課 曹長 河西 修	中隊長 不明 指揮班 野並一永 見土高杉 次郎 48 見土廣川 基隆 46 三小隊長 岩野 竹一 46 准尉	中尉 小栗 寛而		大佐 後藤 三平 副官 島藤 角三 中尉
						守北
						吳 森
				有線機の補給、兵装資材の集積		

第一回 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣  
 第二回 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣  
 第三回 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣  
 第四回 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣  
 第五回 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 730 1171 1099"><tr><td data-bbox="639 730 895 909">1</td><td data-bbox="895 730 1171 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 909 895 1099">3</td><td data-bbox="895 909 1171 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0378  
0379  
0380  
0381

第四軍第一二三師團 部隊名 歩兵第二六九聯隊(二) 通稱號 滿洲風一五二〇三

郵便所名

全般概要					屬所
轉入 十九年以降					編制人員
轉出 十九年以降					
第一大隊本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第一大隊中隊	別除
少佐 楠木	中尉 藤見合	少尉 川口	大尉 天野		隊長名 (内は先代を不す)
					戰闘間 人員
					駐屯地
				屯武勝	戰闘間の状況及損耗
<p>主力は八月二日勝山河西陣地正面に於て 戰斗に入り、八月三日河西陣地に撤退 同日勝山陣地は包圍され八月一六日孫吳に 撤退する戦死一〇〇名以上を出せり</p>					終戦後の人員變動
作業大隊より 入ソ返の變動					入ソ人員
隊別計					滿洲殘留
收容					收

部隊名 歩兵第二六九聯隊(二)

通稱 號

滿洲 松風一五二〇三

郵便所名

第一	隊中銃機隊大第一	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大第一	員人制編	別 隊
		大尉 天野	少尉 川口	中尉 藤見合	少佐 楠木	( )内は先代を示す	隊長名
							開人 戦時
							駐屯地
					屯武勝		戦時
						主力は八月二日露山河西陣地正面に於て 激戦に入り、八月三日河西山陣地に撤退 同日露山陣地は包圍され八月十六日露兵に 撤退する戦死一〇〇名以上を出せり	戦闘間の状況及損耗
							終戦後の人員變動
							作業大隊より 入ソ迄の變動
							入ソ人員
							隊別計
							満洲残留
							收容所
							收容所名
							員所人
							死亡
							満洲より
							ソ領より
							計
							者 数
							状況不明

部本隊大二第	隊小砲兵歩隊大一第	隊中銃機隊大一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第
少佐 寺坂			大尉 天野	少尉 川口	中尉 藤見合	少佐 橋本
						古武彦
開戦と同時に陣地に就き敵機の銃撃に對して應戦し二月八日「ホルモリン」附近より上陸したる敵機甲部隊に對し挺身奇襲せり損害六機に數あり						主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦 主計長八三二二等陸軍少佐古武彦



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 730 1174 1099"><tr><td data-bbox="644 730 900 913">1</td><td data-bbox="904 730 1169 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="644 913 900 1099">3</td><td data-bbox="904 913 1169 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					



0382  
0383  
0384  
0385

所 屬

第四軍第一二三師團 部隊名 步兵第二六九聯隊(三)

通稱號

滿洲 松風一五二〇三 六八六

郵便所名

					全般概要	所 屬
					轉入 十九年以降	
					轉出 十九年以降	
					員人制編	
第二聯隊 砲兵	第二聯隊 關銃中隊	第六中隊	第五中隊	第四中隊	別 隊	
					隊長名 (内は先代を不示)	
					開人 戦時	
					駐屯地 平時	
					戦時	
					戰鬥間の状況及損耗	
					終戦後の人員變動	
					作業大隊より 入ソ連の變動	
					入ソ連人員 除別計	
					滿洲残留	



隊中七第	部本隊大三第	隊大二第 隊小砲兵歩	隊大二第 隊中銃關機	隊中六第	隊中五第	隊中四第
	少佐 平間才次郎					
	地陣克奇 地陣七五河孫					
	主力(二ヶ中隊)は平間大隊を編成有力な る機甲部隊と攻撃、大隊長以下多数戦死の 甚大なる損害を蒙り戦死約一〇〇名、戦傷 約一〇名を出せり					

